

過度な

議会の活動制限は許されません

新型コロナ克服へ 議会の役割発揮を



日本共産党 流山市議会議員

小田 桐たかし

党は、これから市民と心ひとつに全力を挙げる決意です。

1週間・10万人当たりの患者出現者数(人)

4/19~	1.54
4/26~	1.03
5/3~	1.03
5/10~6/20	0
6/21~	1.03
6/28~	1.03
7/ 5~	1.54
7/12~	2.56
7/19~	?

※都道府県が社会に協力要請をする基準:2.5人、緊急事態宣言発令時:5人
※5/25緊急事態宣言解除(千葉県)

宣言解除後、1週間・人口10万人当たりの出現患者数は週単位で増加し、市民1万に当たりの罹患率は6月1日時点の2倍(7月20日時点)、経路不明の高齢者感染者も出ています。議会の役割を最大限発揮し、一日でも早く、新型コロナ対策の強化・充実が必須です。

日本共産党は、役所・各公共施設が不特定多数の市民に開放されていることから等から、議会への市民立ち入りを再開すべきと指摘。また、「何もせずに改善はあり得ない。人と予算をつけて解決するのが議会の役目」と、会派による市内視察の再開を提案しました。

「視察は、委員会も党派も、年内中止」を最後まで主張。議会活動の停滞に議長の消極姿勢が色濃く反映している姿が再び浮き彫りになりました。

「会派による市内視察は再開すべき」「人と予算をつけて課題解決が議会の役目」と提案

新型コロナの感染拡大や対策強化が求められている今、市議会の役割が問われています。

しかし、6月議会における一般

質問の取りやめ、春に続き秋の議会報告会の開催取りやめ、臨時議会の未開催など議会の停滞が目にとります。

20日開かれた市議会代表者会議

話し合いの結果、会派視察は中止

では、「現状では厳しい状況。改善されれば戻せばいい」(青野議長)等の理由から、会派による市内視察や市役所第1庁舎4階の市議会フロアへの市民立ち入りの禁止が年内いっぱい中止されることになりました。

「視察は開放」とする一方、青野議長は「視察は、委員会も党派も、年内中止」を最後まで主張。議会活動の停滞に議長の消極姿勢が色濃く反映している姿が再び浮き彫りになりました。

一般質問の実施、委員会活動の充実など 議会の適正な活動を求める世論を広げてください。。。